

## AGCポリマー建材株式会社

首 都 圏 支 店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421  
仙 台 営 業 所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371  
名 古 屋 営 業 所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491  
大 阪 営 業 所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910  
九 州 営 業 所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154  
北 海 道 出 張 所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120



# タフガイ サラセーヌ<sup>®</sup> 堅鎧<sup>®</sup> システム



JIS A 6021

高強度形／高伸長形 W認証 ウレタン防水材

サラセーヌ<sup>®</sup>AZ

特化則非該当  
JIS高強度形 サラセーヌAZ、誕生。

タフガイ  
**堅鎧は、より進化する。**

サラセーヌ堅鎧システムは、  
従来の手塗りウレタン防水材と  
JIS高強度形ウレタン防水材「サラセーヌA」を複層させる  
防水工法として2014年に産声をあげました。

以来、ウレタン塗膜防水層の高耐久化、施工利便性が評価され、  
多くの実績を獲得しました。

特化則非該当へアップデートした『サラセーヌAZ』の誕生により、  
環境対応型 特化則非該当『サラセーヌ堅鎧システム』が実現します。  
※本カタログに掲載させている工法は、全て環境対応型 特化則非該当工法です。



比類なき耐久性、サラセーヌAZ。

タフガイ  
**堅鎧が、上質な空間を演出する。**

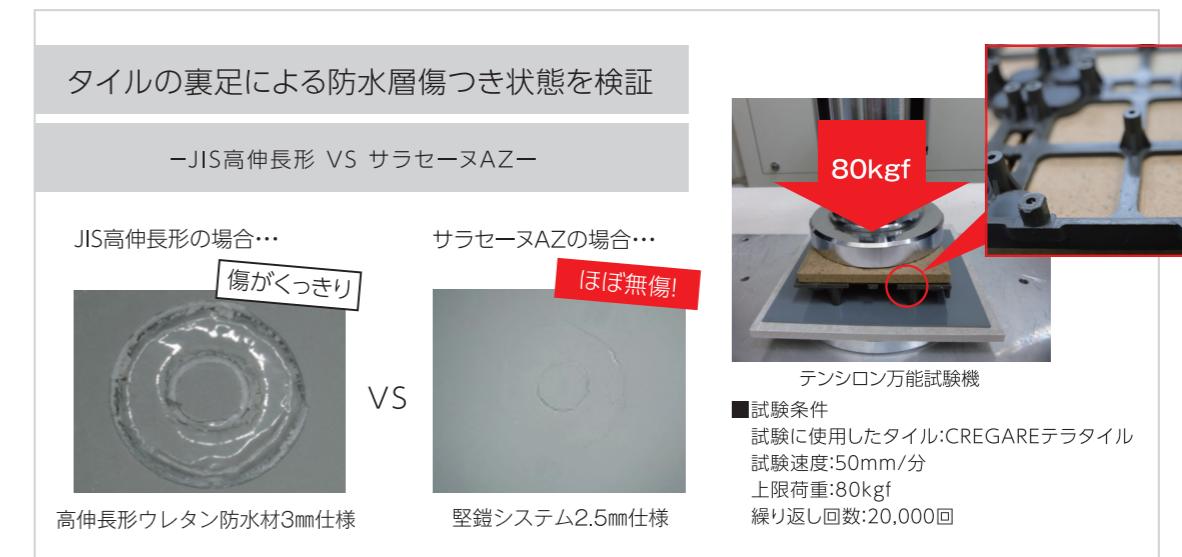
サラセーヌAZは、  
JIS高強度形とJIS高伸長形の  
2つの規格を認証。

超速硬化吹付け防水材に匹敵する強度と  
手塗りウレタン防水材の  
伸び性能を兼備。

サラセーヌAZが防水層の表層を  
徹底ガードし傷がつきにくいため、  
置き敷きタイル仕上げが可能。\*



\*出典元:積水化学工業株式会社.RIENA/CREGAREカタログ



※接地面となる裏足の形状が平滑、かつ直径が5mm以上のものに限ります。

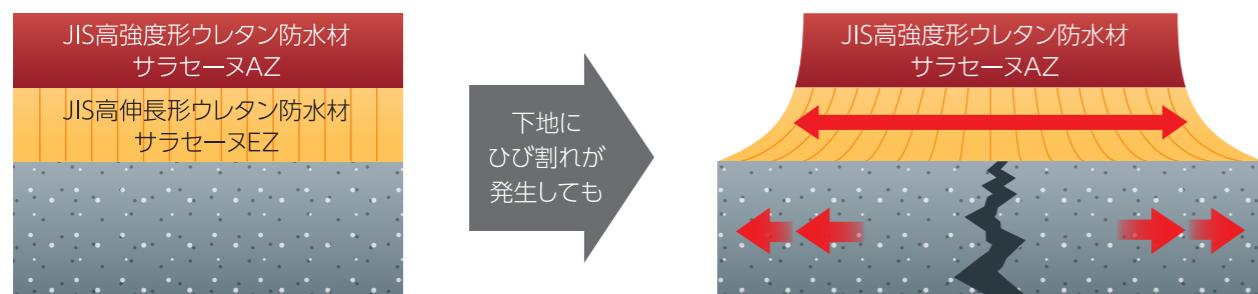
# 重なり合うJISが共鳴する。 タフガイ 堅鎧は、補強布フリー。

## 下地ひび割れ追従性能比較 タフガイ 堅鎧工法 VS JIS高伸長形 X-2工法

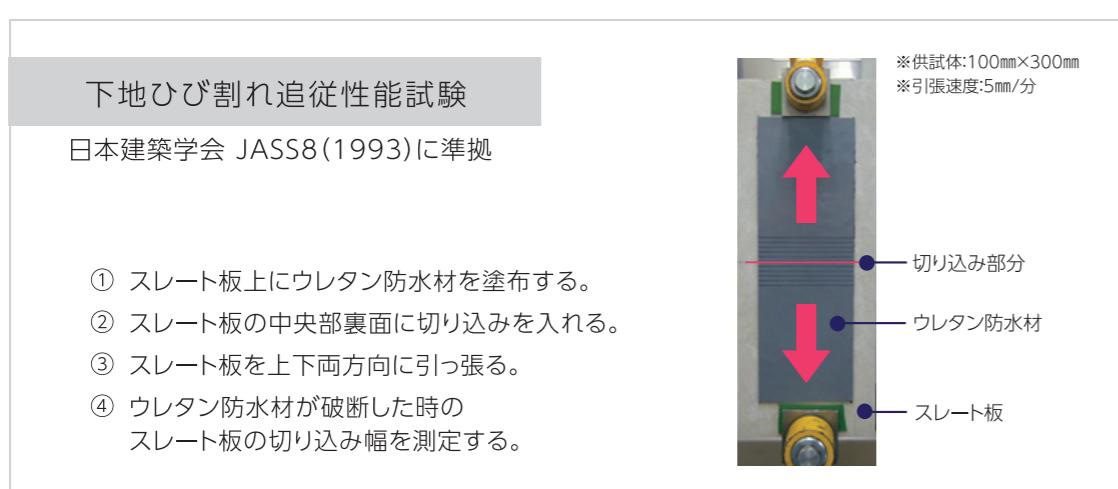
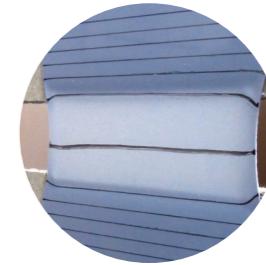
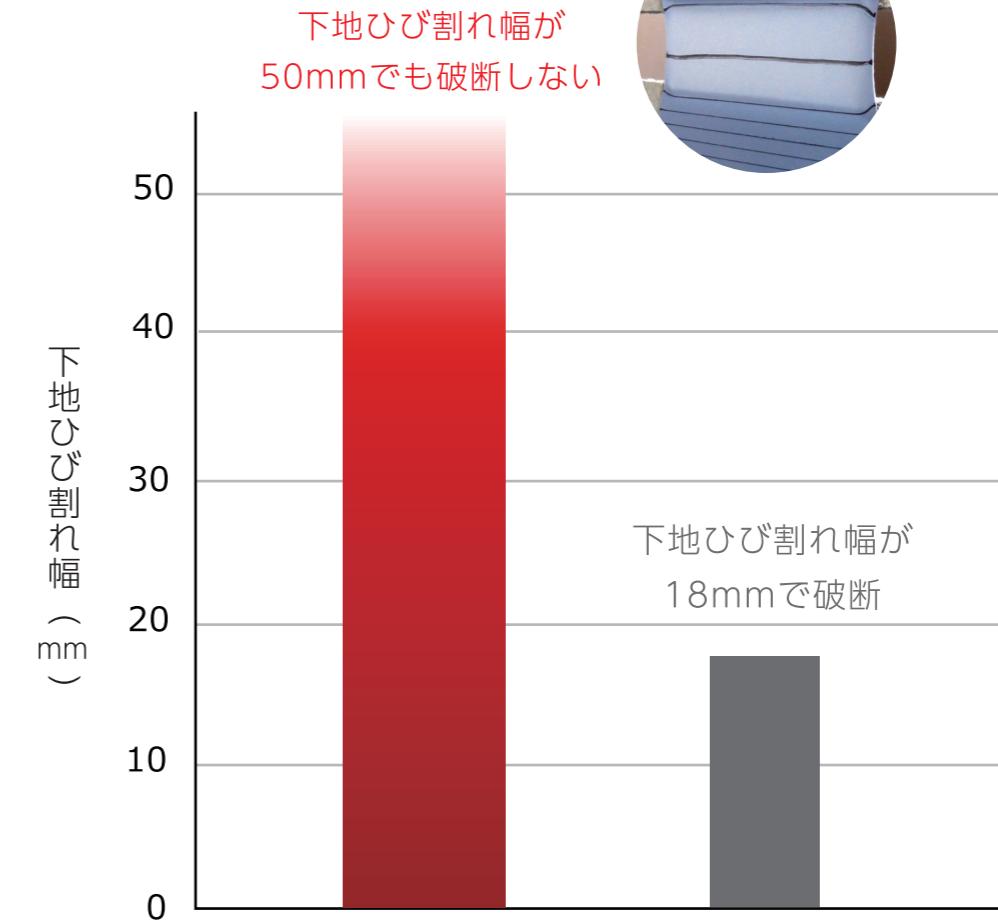
日本建築学会 JASS8(1993)に準拠

サラセーヌ堅鎧システムは、  
高伸長形ウレタン防水材の上に、  
『サラセーヌAZ』を塗り重ねることにより、  
補強布フリー\*(補強布省略)でも  
驚異的な下地ひび割れ追従性能を発揮します。  
その下地ひび割れ追従性能は、  
高伸長形ウレタン防水材を用いたX-2工法を圧倒します。

右ページ  
参照



\*補強布フリーとは、平場・立上りにおいて補強布を省略することを指します。



タフガイ  
堅鎧工法  
2.5mm  
補強布フリー  
※1

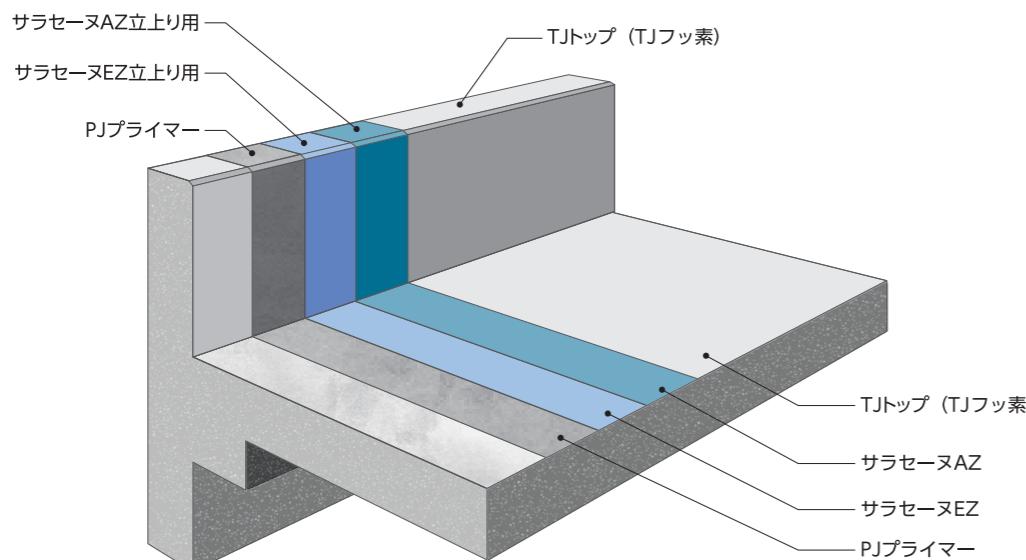
JIS高伸長形  
X-2工法  
3.0mm  
補強布あり  
※2

※1 サラセーヌタフガイ  
SD-AZEZ25  
※2 サラセーヌX-2EZ

堅鎧工法は、補強布フリーでも、  
X-2相当工法以上の性能を有していると言えます。

## JIS高伸長形+JIS高強度形密着SD工法

屋上・ルーフバルコニー等に適用



平場

### サラセーヌタフガイSD-AZEZ25TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ*	1.7kg*
③ サラセーヌAZ	1.5kg
④ TJトップ(TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.5mm

\* サラセーヌAZに変更することができます。

変更した場合、使用量は1.5 kg/m<sup>2</sup>になります。

工法名は、サラセーヌタフガイSD-AZ25TJ(TJフッ素)になります。

平場

### サラセーヌタフガイSD-AZEZ30TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ*	2.0kg*
③ サラセーヌAZ	1.8kg
④ TJトップ(TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均3.0mm

\* サラセーヌAZに変更することができます。

変更した場合、使用量は1.8 kg/m<sup>2</sup>になります。

工法名は、サラセーヌタフガイSD-AZ30TJ(TJフッ素)になります。

立上り・笠木・架台等

### サラセーヌタフガイSD-AZEZ立上り20TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ立上り用*	1.3kg*
③ サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
④ TJトップ(TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

\* サラセーヌAZ立上り用に変更することができます。

変更した場合、使用量は1.2 kg/m<sup>2</sup>になります。

工法名は、サラセーヌタフガイSD-AZ立上り20TJ(TJフッ素)になります。

## 注意事項

※「PJプライマー」はモルタル・コンクリート下地用です。

下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。なお、プライマーの使用量は下地調整を行う条件で設定されています。

※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。

※「サラセーヌAZ・AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ・EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。

詳細は16ページをご参照ください。

※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。

品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」をご採用ください。

※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。

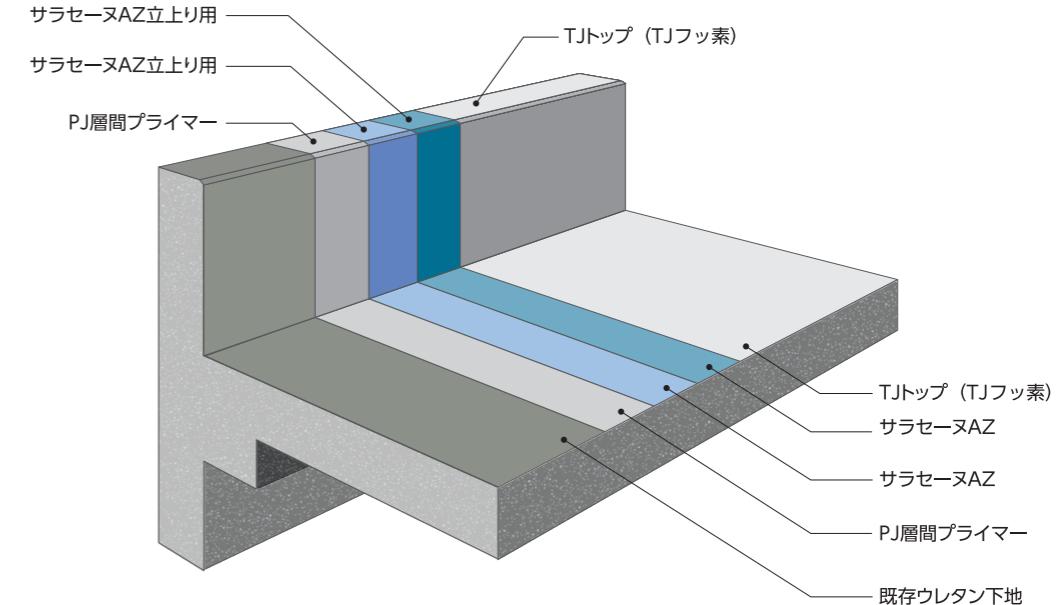
規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。

※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 既存ウレタン防水塗り重ね JIS高強度形密着NK工法

屋上・ルーフバルコニー等に適用



平場

### サラセーヌタフガイNK-AZ20TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ	1.2kg
③ サラセーヌAZ	1.2kg
④ TJトップ(TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

立上り・笠木・架台等

### サラセーヌタフガイNK-AZ立上り20TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
③ サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
④ TJトップ(TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

## 注意事項

※「PJ層間プライマー」は既存ウレタン下地用です。

下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。

なお、プライマーの使用量は下地調整を行う条件で設定されています。

※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。

※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。

※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。

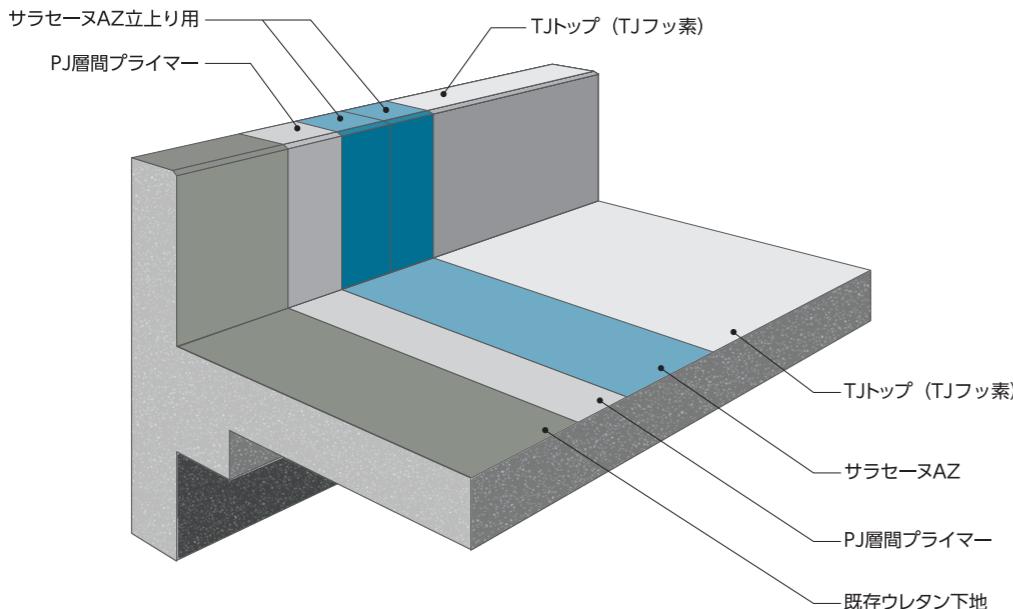
規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。

※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することができます。

# 既存ウレタン防水塗り重ね JIS高強度形密着NK工法

屋上・ルーフバルコニー等に適用



平場	
工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ	2.0kg
③ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg) 防水層厚み平均1.6mm

立上り・笠木・架台等	
工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ立上り用	1.0kg
③ サラセーヌAZ立上り用	1.0kg
④ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg) 防水層厚み平均1.6mm

本工法には適用基準があります。

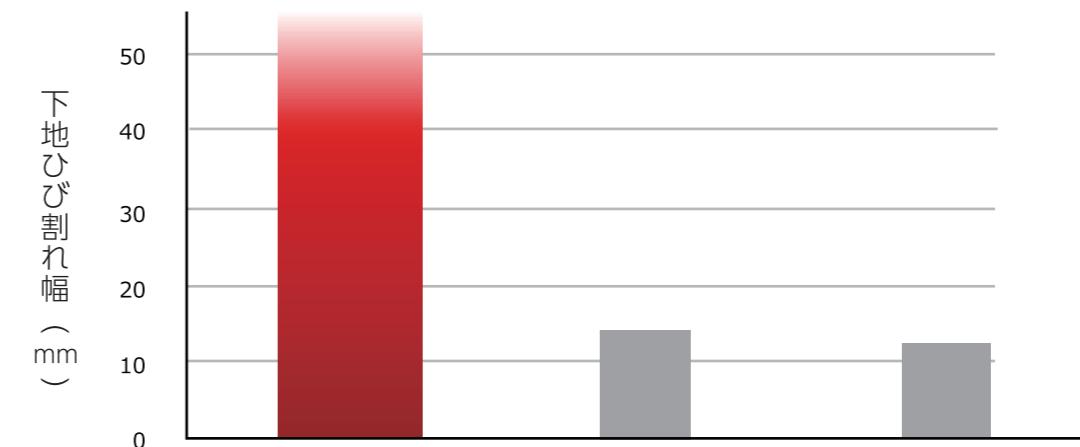
本工法をご採用いただく場合には右ページの適用基準を満たしていることを事前にご確認ください。

## 注意事項

- ※「PJ層間プライマー」は既存ウレタン下地用です。  
下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。  
各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。  
なお、プライマーの使用量は下地調整を行う条件で設定されています。
- ※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。
- ※「サラセーヌAZ、AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ、EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。  
詳細は16ページをご参照ください。
- ※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。
- ※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。  
規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。
- ※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。
- ※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 塗り重ねによる下地ひび割れ追従性能比較

サラセーヌAZは、既存ウレタン塗膜防水層への塗り重ねにおいても抜群の下地ひび割れ追従性能を発揮。  
堅鎧システムにより既存ウレタン塗膜防水層をバリューアップします。



既存ウレタン塗膜防水3.0mm  
+  
サラセーヌAZ塗り重ね1.6mm

既存ウレタン塗膜防水3.0mm  
+  
JIS高伸長形ウレタン防水材塗り重ね2.0mm

既存ウレタン塗膜防水3.0mm

## 適用基準

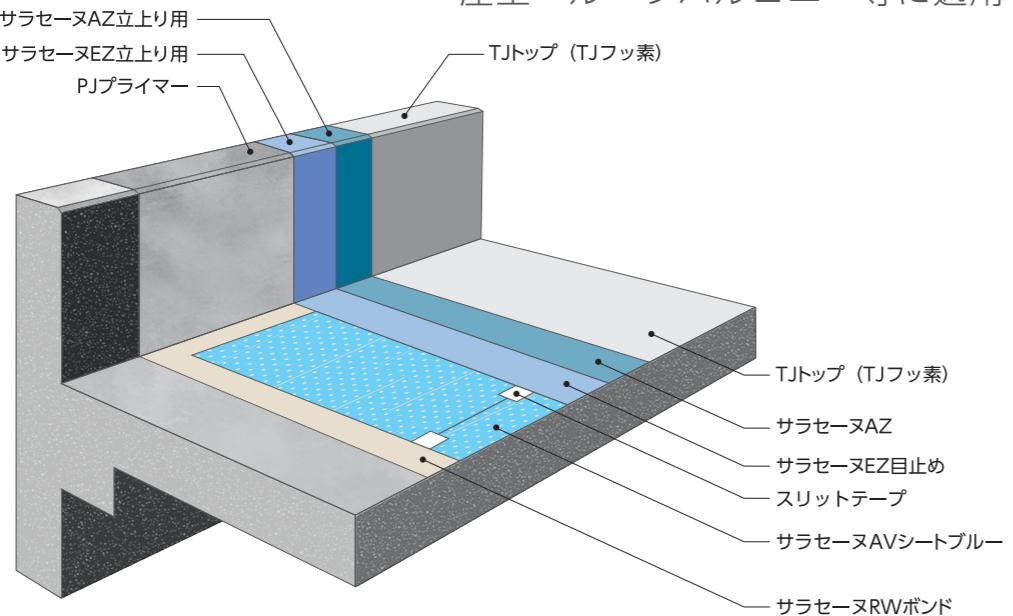
サラセーヌタフガイNK-AZ16TJ工法、  
またはサラセーヌタフガイNK-AZ立上り16TJ工法を  
ご採用いただく場合には、以下の適用基準を満たしていることを事前にご確認ください。

- 防水層に起因する階下居室への漏水が無いこと。
- 既存ウレタン塗膜防水層に著しい亀裂やフレアが無く、部分補修により、改修下地として十分に適用できる状態であること。
- 既存ウレタン塗膜防水層に十分な膜厚(平均3mm以上を目安とする)が確保されていること。

上記基準を満たさない場合は、  
サラセーヌタフガイNK-AZ20TJ工法等(6ページ参照)をご検討ください。

## 通気緩衝 AV 工法 (有孔不織布タイプ)

屋上・ルーフバルコニー等に適用



平場

### サラセーヌタフガイAV-AZEZ45TJ (TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① サラセーヌRWボンド	0.25kg
② サラセーヌAVシートブルー／スリットテープ	—
③ サラセーヌEZ目止め	1.2kg
④ サラセーヌAZ	2.0kg
⑤ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.3mm

立上り・笠木・架台等

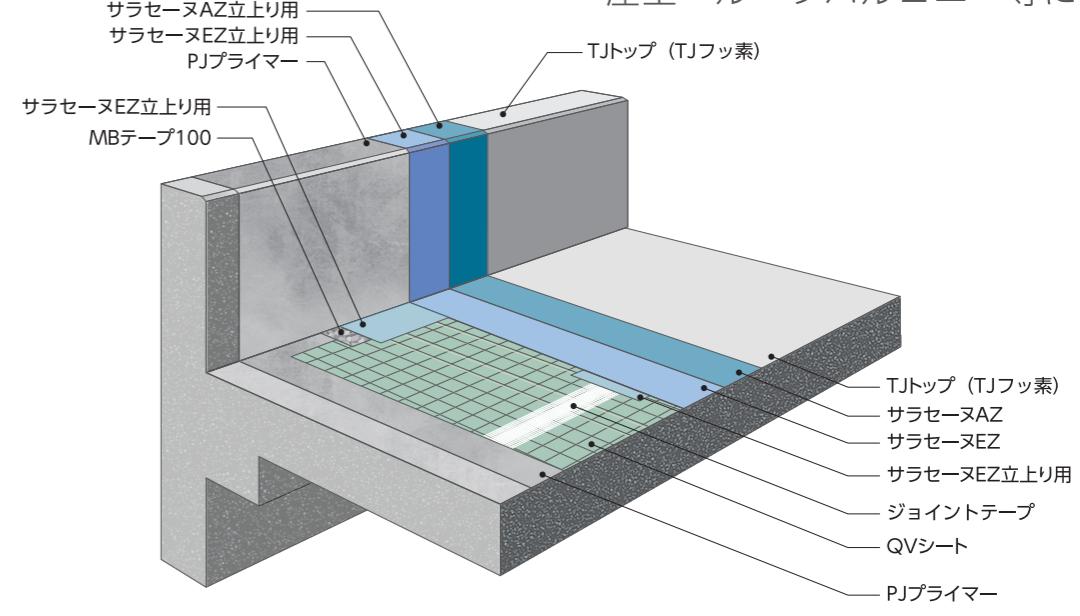
### サラセーヌタフガイSD-AZEZ立上り20TJ (TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ立上り用*	1.3kg*
③ サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
④ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

★ サラセーヌAZ立上り用に変更することができます。  
変更した場合、使用量は1.2kg/m<sup>2</sup>になります。  
工法名は、サラセーヌタフガイSD-AZ立上り20TJ(TJフッ素)になります。

## 通気緩衝 QV 工法 (自着層タイプ)

屋上・ルーフバルコニー等に適用



平場

### サラセーヌタフガイQV-AZEZ45TJ (TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② QVシート	1.06m ジョイントテープ/MBテープ100/ サラセーヌEZ立上り用
③ サラセーヌEZ	1.3kg
④ サラセーヌAZ	1.2kg
⑤ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

立上り・笠木・架台等

### サラセーヌタフガイSD-AZEZ立上り20TJ (TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ立上り用*	1.3kg*
③ サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
④ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

★ サラセーヌAZ立上り用に変更することができます。  
変更した場合、使用量は1.2kg/m<sup>2</sup>になります。  
工法名は、サラセーヌタフガイSD-AZ立上り20TJ(TJフッ素)になります。

### 注意事項

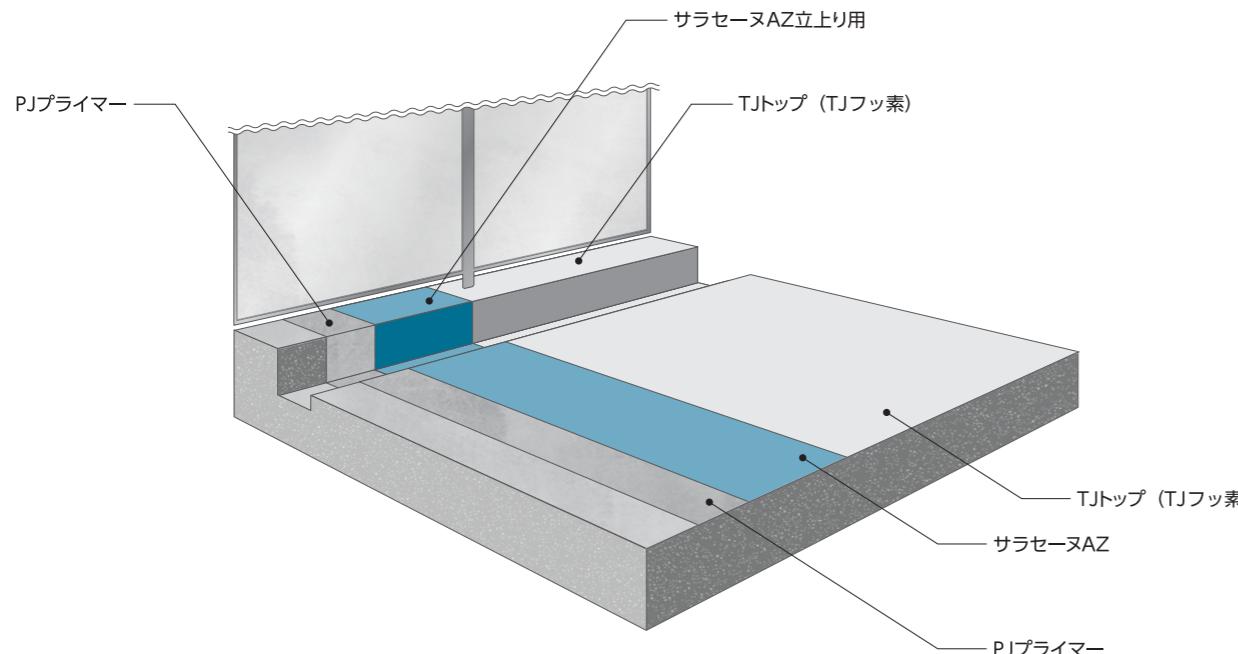
- ※「サラセーヌRWボンド」「PJプライマー」はモルタル・コンクリート下地用です。下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。なお、プライマーの使用量は下地調整を行う条件で設定されています。
- ※通気緩衝シートは「サラセーヌAVシートブルー」をご使用ください。
- ※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。
- ※「サラセーヌAZ、AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ、EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。詳細は16ページをご参照ください。
- ※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。
- 品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」をご採用ください。
- ※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)をご使用ください。
- 規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。
- ※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材に三角打ち(10mm幅程度)をしてください。
- ※脱気筒は50m~100mに一箇所を目安に取り付けてください。
- ※事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。
- ※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 注意事項

- ※「PJプライマー」はモルタル・コンクリート下地用です。下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。なお、PW-100プライマーはQVシートの張り付けにご使用できません。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。プライマーの使用量は下地調整を行なう条件で設定されています。
- ※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。
- ※「サラセーヌAZ、AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ、EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。詳細は16ページをご参照ください。
- ※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。
- 品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」をご採用ください。
- ※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。
- 規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。
- ※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材に三角打ち(10mm幅程度)をしてください。
- ※脱気筒は50m~100mに一箇所を目安に取り付けてください。
- ※事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。
- ※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## JIS高強度形密着SD工法

階下に居室がないベランダ・庇等に適用



平場  
サラセーヌタフガイSD-AZ15TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ プライマー	0.2kg
② サラセーヌAZ	1.8kg *注
③ TJ トップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.5mm

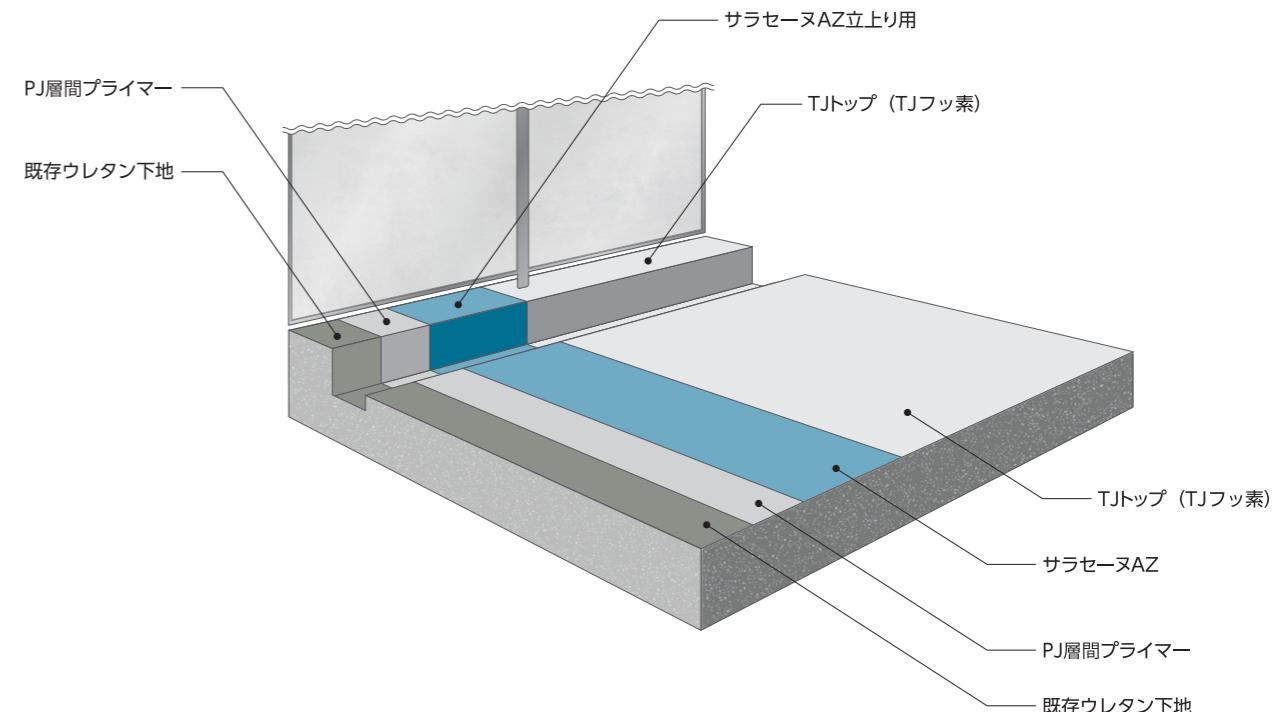
立上り・側溝・巾木等  
サラセーヌタフガイSD-AZ立上り15TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ プライマー	0.2kg
② サラセーヌAZ立上り用	1.8kg *注
③ TJ トップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.5mm

## 既存ウレタン防水塗り重ね JIS高強度形密着NK工法

階下に居室がないベランダ・庇等に適用



平場  
サラセーヌタフガイNK-AZ13TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ 層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ	1.6kg *注
③ TJ トップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.3mm

立上り・側溝・巾木等  
サラセーヌタフガイNK-AZ立上り13TJ(TJフッ素)

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① PJ 層間プライマー	0.1kg
② サラセーヌAZ立上り用	1.6kg *注
③ TJ トップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.3mm

### 注意事項

\*「PJプライマー」はモルタル・コンクリート下地用です。  
下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。なお、プライマーの使用量は下地調整を行う条件で設定されています。  
※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。  
※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。  
※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。  
※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。  
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 注意事項

\*「PJ層間プライマー」は既存ウレタン下地用です。  
下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。  
各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参照ください。  
なお、プライマーの使用量は下地調整を行いう条件で設定されています。  
※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。  
※「サラセーヌAZ、AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ、EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。  
詳細は16ページをご参照ください。  
※保護仕上材は、目的や用途に応じたものをお選びください。詳細は17ページをご参照ください。  
※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。  
規定期厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。  
※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。  
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 公共建築工事標準仕様相当工法（令和4年版）

下記の仕様は、公共建築工事標準仕様書（令和4年版）に準じます。

## 《X-1(有孔不織布タイプ)》

### サラセーヌタフガイAV-X-1AZEZ TJトップ仕上げ

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① サラセーヌRWボンド	0.3kg
② サラセーヌAVシートブルー <sup>注1</sup> /スリットテープ	—
③ サラセーヌEZ目止め	1.3kg/m <sup>2</sup> <sup>注2</sup>
④ サラセーヌEZ	1.4kg
⑤ サラセーヌAZ	1.3kg
⑥ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

注1：サラセーヌAVシートブルーはサラセーヌAVシートに変更可能です。

注2：「サラセーヌAVシート」使用時は1.4kg/m<sup>2</sup>

## 《X-1(自着層タイプ)》

### サラセーヌタフガイQV-X-1AZEZ TJトップ仕上げ

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① P Jプライマー	0.2kg
② QVシート	1.06m
ジョイントテープ/MBテープ100/サラセーヌEZ立上り用	1.06m/-/-
③ サラセーヌEZ	2.0kg
④ サラセーヌAZ	1.8kg
⑤ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

## 《X-2》

### サラセーヌタフガイX-2AZEZ TJトップ仕上げ

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① P Jプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ/補強用クロス	0.8kg/-
③ サラセーヌEZ	1.6kg
④ サラセーヌAZ	1.4kg
⑤ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

## 《X-2立上り》

### サラセーヌタフガイX-2立上りAZEZ TJトップ仕上げ

工程	使用量 / m <sup>2</sup>
① P Jプライマー	0.2kg
② サラセーヌEZ立上り用/補強用クロス	0.8kg/-
③ サラセーヌEZ立上り用	0.8kg
④ サラセーヌAZ立上り用	1.0kg
⑤ TJトップ (TJフッ素)	0.2kg (0.15kg)

## 《参考資料》

### ウレタンゴム系塗膜防水工法の種別および工程

#### 《X-1工法(絶縁工法)》

工程	材料・工法	使用量 / m <sup>2</sup>
①	接着剤塗り、通気緩衝シート張り <sup>※1</sup>	0.3kg
②	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0kg <sup>※4※5</sup>
③	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	—
④	仕上塗料塗り <sup>※6</sup>	—

#### 《X-2工法(密着工法)》

工程	材料・工法	使用量 / m <sup>2</sup>
①	プライマー塗り	0.2kg
②	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り補強布張り	0.3kg
③	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7kg <sup>※4※5</sup>
④	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7kg) <sup>※2</sup>
⑤	仕上塗料塗り <sup>※6</sup>	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。

※2：立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3および工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を( )内とする。

※3：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

※4：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。

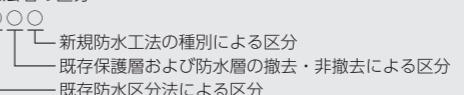
※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m<sup>2</sup>、立上りは1.5kg/m<sup>2</sup>を上限とする。

※6：仕上塗料の種類および使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

## 改修工法と種別

改修工法 (表3.1.1) <sup>※1</sup>	既存防水工法	既存保護層及び 防水層の撤去・非撤去	新規防水工法の種別
P O X工法	P : 保護アスファルト 防水工法	0 : 保護層及び防水層の非撤去	X : ウレタン塗膜防水/X-1工法
L 4 X工法	L : ウレタン系塗膜 防水工法	4 : 露出防水層非撤去	X : ウレタン塗膜防水/X-2工法 <sup>※2</sup>

※1：工法名の区分



※2：L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、X-2工法の工程1を省略する。

※「サラセーヌRWボンド」「PJプライマー」はモルタル・コンクリート下地用です。下地の種類によって選定するプライマーが異なります。詳細は17ページをご参照ください。なお、PW-100プライマーはQVシートの張り付けにご使用できません。各プライマーの使用量は「サラセーヌ総合カタログプライマーラインナップ」をご参考ください。プライマーの使用量は下地調整を行なう条件で設定されています。  
※サラセーヌAZおよびサラセーヌAZ立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。  
※「サラセーヌAZ、AZ立上り用」と複層する「サラセーヌEZ、EZ立上り用」は、特化則非該当サラセーヌシリーズ(高伸長形ウレタン防水材)に変更できます。詳細は16ページをご参照ください。  
※仕上塗料は、目的や用途に応じたものをお選びいただけます。品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」「サラセーヌTフッ素水性」「TSトップ」をご採用ください。  
※この工法は、日本建築学会建築工事標準仕様書JASS 8-2022防水工事ウレタンゴム系塗膜防水工法・絶縁仕様L-USSおよびウレタンゴム系塗膜工法・密着仕様L-UFSに準拠します。  
※脱気筒は25m~100mに一箇所を目安に取り付けてください。  
※X-1(自着層タイプ)をご採用の場合は、事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。

# 技術データ

## ウレタン防水材の性状および物性

項目	品名	サラセーヌAZ	サラセーヌAZ立上り用
配合比 (主剤 : 硬化剤) ※質量比		1 : 1	1 : 1
混合粘度 (mPa·s/20°C)		8400	パテ状
可使時間 (分/20°C)		70	60
初期硬化時間 (時間/20°C)		16	16
硬化物比重		1.2	1.2

項目	品名	サラセーヌEZ	サラセーヌEZ立上り用	サラセーヌEZ目止め
配合比 (主剤 : 硬化剤) ※質量比		1 : 2	1 : 2	1 : 2
混合粘度 (mPa·s/20°C)		6500	60000	55000
可使時間 (分/20°C)		100	85	80
初期硬化時間 (時間/20°C)		24	24	24
硬化物比重		1.3	1.3	1.3

※上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

## 塗り重ね適合表(防水材+防水材)

下地への適合性 ◎:塗り重ね可能 ☆:塗り重ね可能(条件あり)

下塗り		特化則非該当防水材									
上塗り	特化則 非該当防水材	サラセーヌAZ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	☆	☆	
		サラセーヌAZ 立上り用	◎	◎	◎	◎	◎	◎	☆	☆	

◎:下塗り防水材硬化後、上塗り防水材をそのまま塗り重ねることができます。

但し、下塗り防水材塗布後、上塗り防水材を塗布するまでの間隔が72時間以上(20°C)開いた場合や雨に打たれた場合は

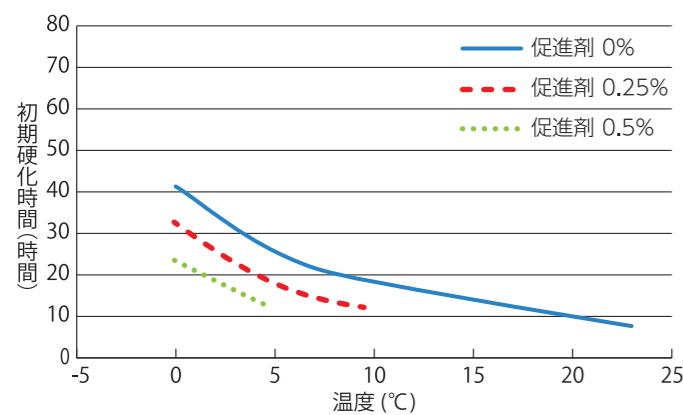
PJ層間プライマー(塗布量0.1kg/m<sup>2</sup>)を塗布してください。なお、PJ層間プライマーと上塗り防水材の塗布間隔は4時間以上72時間以内(20°C)です。

☆:下塗り防水材硬化後、上塗り防水材をそのまま塗り重ねることができません。上塗り防水材を塗布する前に

PJ層間プライマー(塗布量0.1kg/m<sup>2</sup>)を塗布してください。なお、PJ層間プライマーと上塗り防水材の塗布間隔は4時間以上72時間以内(20°C)です。

## 硬化促進剤の添加量と硬化時間(目安)

気温が低い時期は、通常より養生時間を長めに設定し、塗膜の硬化性を十分に確認してください。  
硬化を促進する場合、ウレタン硬化促進剤EX\*を主剤・硬化剤の混合物(質量比)に対し最大0.5%までを上限とし添加してください。 \*ウレタン硬化促進剤EXは、プライマー、保護仕上材には使用できません。



※左表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。  
現場環境により変化する場合があります。

硬化促進剤EXは、必ず規定量を守ってご使用ください。  
規定量以上の添加をおこなうと可使時間(ボットライフ)が短くなり、  
レベル不良によるコテ筋や材料に巻き込んだ空気などが表面まで抜けきらずピンホールとしてウレタン塗膜の表面に残ることがあります。

## 環境対応表

分類	品名	特化則非該当	有機則非該当	学校環境衛生基準6物質を含まない(※1)	厚労省13物質を含まない(※2)	ホルムアルデヒド放散等級	鉛化合物を含まない
防水材	サラセーヌAZ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌAZ立上り用	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌEZ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌEZ立上り用	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌEZ目止め	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌSB	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌSB中粘度	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌSB立上り用	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌEQ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌEQノンサグ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
保護仕上材	TJフッ素	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TJフッ素サーモ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TJトップ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TJサーモ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TSトップ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TSサーモ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌTフッ素水性	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌTフッ素水性サーモ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TWトップ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	TWサーモ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
プライマーやボンド	FSトップ	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	PJプライマー	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	PJ層間プライマー	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	PW-100プライマー	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	PW-60プライマー	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	PW-700プライマー	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	サラセーヌRWボンド	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	ECO用希釀剤	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○
	ウレタン硬化促進剤EX	○	○	○	○	F☆☆☆☆☆	○

※1 学校環境衛生基準対象となる6物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

※2 厚生労働省シックハウスの原因物質 管理濃度指針値を策定13物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、パラジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェノプロカルブ、クロルピリホス

2024年10月現在

分類	品名	荷姿	消防法関係		特長・用途
			危険物区分	液比重	
プライマー／ボンド	PJプライマー	1成分	16kg	4類1石(非水溶性)	1.01 ウレタン系一般モルタル・コンクリート用プライマー
	PJ層間プライマー	1成分	5kg	4類1石(非水溶性)	1.04 ウレタン系塗り重ね用・層間プライマー
	PW-100プライマー	主剤	3kg	非危険物	1.02 水性エポキシ系一般モルタル・コンクリート用プライマー
		硬化剤	3kg	非危険物	1.03 主剤:硬化剤=1:1.2
		フィラー	6kg	非危険物	-
	PW-60プライマー	主剤	0.5kg×2	4類2石(非水溶性)	1.10 水性ウレタン系塗り重ね用・層間プライマー
		硬化剤	5kg×2	非危険物	1.01 主剤:硬化剤=1:10
		主剤	10kg	非危険物	1.06 水性エポキシ系金属下地用プライマー
	PW-700プライマー	硬化剤	5kg	非危険物	1.03 主剤:硬化剤=2:1
		主剤	10kg	非危険物	- 水性エポキシ系AVシート張付け用接着材
		硬化剤	5kg	非危険物	1.00 主剤:硬化剤=2:1
防水材	サラセーヌAZ	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	1.03 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形平場用防水材
		硬化剤	8kg	4類4石	1.45 主剤:硬化剤=1:1
	サラセーヌAZ立上り用	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	1.03 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形立上がり用防水材
		硬化剤	8kg	非危険物	1.50 主剤:硬化剤=1:1
	サラセーヌEZ	主剤	8kg/6kg/180kg	4類4石	1.03 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用防水材
		硬化剤	16kg/12kg/180kg×2	4類4石	1.60 主剤:硬化剤=1:2
	サラセーヌEZ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.03 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用防水材
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60 主剤:硬化剤=1:2
	サラセーヌEZ目止め	主剤	8kg	4類4石	1.03 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形AVシート目止め用防水材
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60 主剤:硬化剤=1:2
保護仕上材	TJトップ	主剤	6kg	4類2石(非水溶性)	0.99 アクリルウレタン系保護仕上材
		硬化剤	9kg	4類2石(非水溶性)	1.16 主剤:硬化剤=2:3
	TJサーモ	主剤	6kg	4類2石(非水溶性)	0.99 アクリルウレタン系遮熱用保護仕上材
		硬化剤	9kg	4類2石(非水溶性)	1.16 主剤:硬化剤=2:3
	TJフッ素	主剤	2kg	4類2石(非水溶性)	1.02 フッ素樹脂系超耐候性保護仕上材
		硬化剤	6kg	4類2石(非水溶性)	1.10 主剤:硬化剤=1:3
	TJフッ素サーモ	主剤	2kg	4類2石(非水溶性)	1.02 フッ素樹脂系超耐候性遮熱用保護仕上材
		硬化剤	6kg	4類2石(非水溶性)	1.10 主剤:硬化剤=1:3
	TSトップ	主剤	6kg	4類2石(非水溶性)	0.99 アクリルシリコーン系保護仕上材
		硬化剤	9kg	4類2石(非水溶性)	1.16 主剤:硬化剤=2:3
副資材	TSサーモ	主剤	6kg	4類2石(非水溶性)	0.99 アクリルシリコーン系遮熱用保護仕上材
		硬化剤	9kg	4類2石(非水溶性)	1.16 主剤:硬化剤=2:3
	TWトップ	主剤	1kg	指定可燃物 可燃性液体類	1.09 水性アクリルウレタン系保護仕上材
		硬化剤	10kg	非危険物	1.14 主剤:硬化剤=1:10
	TWサーモ	主剤	1kg	指定可燃物 可燃性液体類	1.09 水性アクリルウレタン系遮熱用保護仕上材
		硬化剤	10kg	非危険物	1.14 主剤:硬化剤=1:10
	サラセーヌTフッ素水性	主剤	1kg	4類3石(非水溶性)	1.10 水性フッ素樹脂系超耐候性保護仕上材
		硬化剤	10kg	非危険物	1.10 主剤:硬化剤=1:10
	サラセーヌTフッ素水性サーモ	主剤	1kg	4類3石(非水溶性)	1.10 水性フッ素樹脂系超耐候性遮熱用保護仕上材
		硬化剤	10kg	非危険物	1.20 主剤:硬化剤=1:10
FSトップ <sup>*1</sup>	1成分	20kg	非危険物	1.50	歩行用砂入りエチレン酢酸ビニル樹脂系保護仕上材
	サラセーヌAVシート	幅×長さ	1m×20m	-	- 有孔通気緩衝シート
	サラセーヌAVシートブルー	幅×長さ	1m×40m	-	- 有孔通気緩衝シート
	スリットテープ	幅×長さ	50mm×100m	-	- AVシート突合せ部処理用
	QVシート	幅×長さ	1.04m×15m	-	- 自着層付き通気緩衝シート
	ジョイントテープ	幅×長さ	100mm×50m×4巻	-	- QVシートジョイント処理用テープ
	MBテープ100	幅×長さ	100mm×20m×8巻	-	- QVシート端末処理用テープ
	サラセーヌクロス#2000	幅×長さ	1m×100m	-	- 補強用ガラス繊維織布(平場・立上り兼用)
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	-	- 補強用ポリエチレン繊維織布(平場・立上り兼用)
	クロステープ#100	幅×長さ	100mm×50m×4巻	-	- 自着層付ガラス繊維織布
ECO用希釈剤	クロステープ#200	幅×長さ	200mm×50m×2巻	-	- 自着層付ガラス繊維織布
	ECO用希釈剤	1成分	16L	4類1石(非水溶性)	0.77 ウレタン防水材専用希釀剤低臭タイプ
	ウレタン硬化促進剤EX <sup>*2</sup>	1成分	4kg	4類4石	0.99 特化則非該当ウレタン防水材(AZ・EZ・EQ)用硬化促進剤
	チップ#20	袋	0.3kg×4袋	-	- 保護仕上材粗面仕上げ用添加剤
	TKパウダー	袋	5kg	-	- ウレタン防水材用の増粘剤 水性保護仕上材用の艶消し剤
	SRステンレスベント	箱	2個	-	- 逆流防止弁付き脱気筒
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	-	- 平場用脱気筒
	SRパラベント	箱	10個	-	- 逆流防止弁付き脱気盤
	サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	-	- 立上り用脱気盤

※1: 前処理としてPJ層間プライマー(塗布量:0.1kg/m<sup>2</sup>)が必要となります。

※2: 各製品の最大添加量はサラセーヌAZ、サラセーヌAZ立上り用で0.5%、サラセーヌEZ、サラセーヌEZ立上り用、サラセーヌEZ目止めで3%、サラセーヌEQ、サラセーヌEQノンサグで1%です。それ以上添加しても物性が低下するだけで、硬化を促進されませんのでご注意ください。

記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。

### ■危険物区分

種別	区分	指定数量
第四類 第一石油類	4類1石(非水溶性)	200リットル
	4類1石(水溶性)	400リットル
第四類 第二石油類	4類2石(非水溶性)	1,000リットル
	4類2石(水溶性)	2,000リットル
第四類 第三石油類	4類3石(非水溶性)	2,000リットル
	4類3石(水溶性)	4,000リットル
第四類 第四石油類	4類4石	6,000リットル
第二類 第一種可燃物固体	2類1固	100kg
第二類 第二種可燃物固体	2類2固	500kg
第二類 引火性固体	2類引固	1,000kg

### ■指定可燃物

種別	区分	指定数量
指定可燃物 可燃性液体類	指・液	2m <sup>3</sup>
指定可燃物 可燃性固体類	指・固	3,000kg

### ■危険物の取り扱い

- 指定数量以上の危険物を作業現場で臨時に貯蔵したり取り扱う場合には、所轄の消防本部または消防署長に、また消防本部などのない市町村では市町村長に申請して、仮貯蔵や取扱いの承認を受ける必要があります。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物を同一の場所で貯蔵したり取り扱う場合にも、品名ごとの総数量をそれぞれの指定数量で割り、その合計が1以上になるときは、指定数量以上危険物を貯蔵し、または取り扱っているものとみなされます。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物の貯蔵も、類別ごとにまとめて、それぞれ1m以上の間隔を置けば同時に貯蔵することができます。
- 指定数量の1/5以上、1未満の危険物の貯蔵取扱いは、市町村の火災予防条例により規制の対象となるため、所轄の消防署に届け出る必要があります。
- 指定可燃物が指定数量1以上の場合には、市町村条例により、所轄の消防本部または消防署長に届け出る必要があります。
- 詳細については、所轄の消防本部または消防署長にご確認ください。

### ■計算例／サラセーヌタフガイSD-AZEZ25 TJ工法を施工する現場に 1,000m<sup>3</sup>分の材料を搬入し貯蔵する場合

手順① 当該工法に使用する材料を確認し、その使用数量及び使用量を計算します。  
手順② 使用材料の危険物区分を確認し、その貯蔵量を計算します　※貯蔵量(L)=貯蔵量(kg)÷液比重

使用材料名	荷姿	使用数量	貯蔵量①	液比重	貯蔵量②	区分
PJプライマー	一液	16kg	13缶	208kg	1.01	4類1石(非水溶性)
サラセーヌEZ	主剤	8kg		568kg	1.03	551.46L 4類4石
	硬化剤	16kg		1,136kg	1.60	710.00L 4類4石
サラセーヌAZ	主剤	8kg	94セット	752kg	1.03	730.10L 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	8kg		752kg	1.45	518.63L 4類4石
TJトップ	主剤	6kg	14セット	84kg	0.99	84.85L 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9kg		126kg	1.16	108.63L 4類2石(非水溶性)